

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立韮山高等学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	15
学校施設の概要	16
在籍生徒調	18
入学志願者及び入学者数調	19
卒業生の動向調	20
生徒の状況	21
授業料収納状況調	22
県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	24
預 金 調	25
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	26
委託料に関する調	28
負担金支出調	32
建築工事調	33
公有財産調	35
借地借家等調	36
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	38
行政財産貸付・使用許可調	39
普通財産・借受財産等貸付調	41
主要備品調	43
職 員 調	44
職員の年齢調	47
健康管理	48

事務事業の概要

1 概況

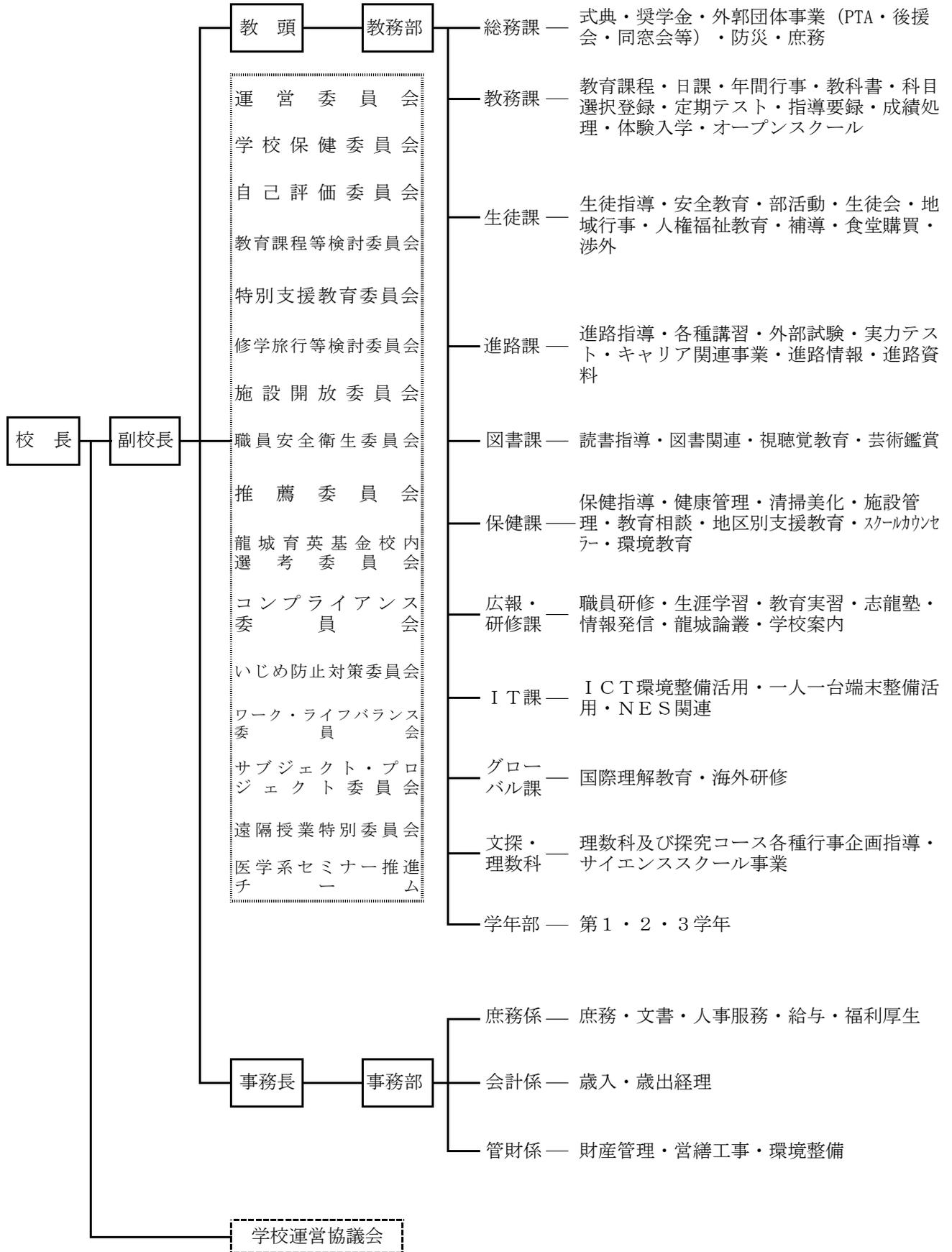
(1) 学校の沿革

明治	6年	3月	足柄県令柏木忠俊葦山支庁（江川邸内）下に仮研究所を開学、小学校授業法を伝習させる。
	7年	11月	葦山城跡に校舎完成、葦山講習所対岳学校と称す。
	9年	5月10日	足柄県庁が廃され、旧葦山県は静岡県に編入、葦山師範分校と改称
	10年	6月	葦山変則中学校と改称し、中学・師範の両科を置く。
	11年	5月27日	葦山中学校と改称し、更に県立葦山中学校となる。
	13年	5月21日	火災により校舎全焼
	15年	6月	新校舎完成、蓮台寺支校を分離独立させ豆陽学校と名づける。
	15年	12月1日	君沢・田方・那賀・賀茂郡町村立中学伊豆学校と改称
	17年	7月1日	豆陽学校を併合して県立豆陽学校と改称し、別に蓮台寺に分教場私立蓮台寺学校を設ける。
	19年	4月1日	勅令15号の発布により、町村立伊豆学校と改称し、田方郡長の管理に属す。
	20年	4月	生徒数130人に達する。
	20年	11月29日	私立伊豆学校と改称
	28年	3月	葦山村外1町18ヶ村組合立静岡県尋常中学校葦山分校となる。
	29年	4月	静岡県葦山尋常中学校と改称独立、生徒数213人
	30年	7月1日	田方郡立となる。
	31年	4月1日	静岡県立となる。（静岡県立葦山尋常中学校）
	32年	4月1日	静岡県葦山中学校と改称
	34年	4月1日	静岡県立葦山中学校と改称、生徒定員400人
	34年	10月12日	現在地に新校舎落成
	38年	4月1日	9学級生徒定員360人に減少
	43年	4月1日	10学級生徒定員400人に復元
大正	4年	4月1日	生徒定員450人
	4年	11月5日	図書館「有慶館」完成
	12年	9月1日	関東大震災により校舎・寄宿舎に甚大な被害受く。
	14年	5月2日	校歌制定（穂積忠作詞・佐々木英作曲）
昭和	5年	11月26日	北伊豆地震により校舎の被害甚大
	10年	10月28日	生徒の作業により運動場観覧席完成
	12年	6月10日	生徒の作業により観覧席から神社前に至る道路玉石垣等が完成
	14年	5月3日	山上テニスコートに登る階段コンクリート工事完成
	16年	4月1日	15学級生徒定員750人
	20年	3月28日	教育令の改正により、4・5年生は同時に卒業する。
	20年	4月1日	16学級生徒定員800人
	23年	4月1日	学制改革により静岡県立葦山高等学校と改称
	23年	8月27日	バレーボール部インターハイ全国優勝（兵庫県）
			24年（西宮）、25年（富山）と3年連続全国優勝
	23年	11月3日	バレーボール部第3回国体全国優勝（福岡県）
			24年（横浜）、25年（岡崎）、26年（広島）国体まで4年連続優勝
	25年	4月8日	第3回選抜全国高等学校野球大会優勝
	27年	11月8日	校地埋立拡張（1,483坪）
	32年	5月28日	講堂兼体育館完成
	33年	9月26日	狩野川台風により生徒1人歿死

昭和	34年	2月25日	旧本館等焼失
	35年	8月29日	南館工事完成（鉄筋コンクリート3階建）
	38年	4月1日	生徒定員1,050人
	39年	9月15日	プール（50m×7コース）及び付属建物完成
	43年	4月1日	第1学年生徒定員336人
	43年	9月30日	運動部部室完成（コンクリートブロック2階建）
	44年	2月7日	南館増築工事完成（鉄筋コンクリート3階建）
	45年	3月11日	理科棟第1期工事完成（鉄筋コンクリート3階建）
	45年	4月1日	理数科設置、 第1学年生徒定員316人（普通科276人・理数科40人）
	46年	4月1日	第1学年生徒定員310人（普通科270人・理数科40人）
	46年1	1月30日	体育館及び格技場完成（鉄筋コンクリート2階建）
	47年	3月27日	管理棟第1期工事完成（鉄筋コンクリート4階建）
	48年	2月20日	管理棟第2期工事完成（鉄筋コンクリート5階建）
	48年	2月24日	運動場西側拡張工事完成
	48年1	10月26日	創立100周年記念・新校舎落成記念式典挙行
	49年	3月13日	外便所完成（南館横）
	51年	4月1日	第1学年生徒定員355人（普通科315人・理数科40人）
	53年	8月31日	管理棟第3期工事完成（鉄筋コンクリート3階建）
	53年	8月31日	生活館「有慶館」完成（鉄筋コンクリート2階建）
	53年	8月31日	体育器具庫完成
	60年	3月25日	体育部室完成（鉄筋2階建）
	62年	3月25日	弓道場完成（鉄筋平屋建）
	63年	2月27日	管理倉庫完成
平成	3年1	2月25日	校舎「教室棟」建築工事完成（鉄筋コンクリート4階建、渡廊下）
	4年	3月16日	外構工事完成（屋外便所、渡り廊下、自転車置場、グラウンド防球ネット復旧）
	4年	3月25日	環境整備工事完成（通用門を中心とする入口広場修景工事・コンクリート塗装）
	5年	4月1日	第1学年生徒定員341人（普通科301人・理数科40人）
	5年1	10月29日	創立120周年記念・新校舎（教室棟）落成記念式典挙行
	6年	4月1日	第1学年生徒定員334人（普通科294人・理数科40人）
	7年	4月1日	第1学年生徒定員327人（普通科287人・理数科40人）
	7年	7月31日	第77回全国高等学校野球選手権静岡大会優勝
	7年	8月7日	第77回全国高等学校野球選手権大会出場（3回戦進出）
	8年	3月26日	プール（50m×8コース）及び付属棟（126㎡）完成
	8年	4月1日	第1学年生徒定員280人（普通科240人・理数科40人）
	8年	6月20日	プール完成記念式典挙行
	9年	4月1日	第1学年生徒定員320人（普通科280人・理数科40人）
	11年	4月1日	第1学年生徒定員280人（普通科240人・理数科40人）
	15年1	10月11日	創立130周年記念式典挙行
	17年1	12月10日	志龍講堂完成
	18年	1月26日	志龍講堂寄贈式
	19年	4月1日	第1学年生徒定員320人（普通科280人・理数科40人）
	20年	4月1日	第1学年生徒定員280人（普通科240人・理数科40人）
	25年1	11月26日	創立140周年記念式典挙行
	26年	3月20日	災害時仮設トイレ（マンホールトイレ）の整備（12基）
	27年	4月1日	サイエンス・アドバンススクール県指定（3年間）
	30年	4月1日	サイエンス・コアスクール（進学重点）県指定（3年間）
	31年	4月1日	普通科2年生文系に探究コースを設置
令和	4年1	10月30日	テニスコート改修工事（オムニ化）落成式挙行

5年 4月 1日 グローバル・ハイスクール県指定（2年間）
5年10月20日 創立150周年記念式典挙

(2) 組織図



2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

古い歴史と伝統で培われた校訓「忍」の精神と自由闊達な校風のもと、高い進学実績を残す東部・伊豆地域のリーダー校として、地域の歴史や環境などの課題探究型学習などを取り入れた普通科・理数科教育の実践や海外研修などのグローバル教育を通して、地域にねざして国際社会で活躍するグローバルリーダーとして将来の国家・社会を担い、人類の発展に貢献する人材の育成を目指す。

(2) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<ul style="list-style-type: none"> ・高い志と優れた知性、健やかな心身を持ち、自ら実践できる人を育成します。 ・地域に根ざして国家や国際社会で活躍することにより、人類の進歩に貢献する人材を育成します。 ・静岡県東部・伊豆地域の発展を牽引するなど、地域の将来を担うリーダーを育成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的な好奇心を養い、豊かな教養を身に付け、主体的に思考し実践する学びを推進します。 ・地域や国際社会について、その諸課題に関する探究型学習や本物に触れ体験する研修、実習を推進します。 ・生徒会活動や学校行事、諸活動において、生徒が自発的、協働的に取り組む教育活動を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動、部活動、探究活動や難関大学進学に対応した学習に主体的に取り組む意欲を持つ、チャレンジ精神旺盛な生徒を求めます。 ・「自由闊達」「文武両道」の校風の下、高校生活を充実させ、志の実現に向けて努力できる生徒を求めます。 ・互いに個性を認め合い、他者と協働しながら切磋琢磨し、仲間と共に成長することを願う生徒を求めます。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自ら学ぶ力の育成（新課程への対応、読解力の向上）
- イ 自己実現・自己肯定感の涵養
- ウ 帰属意識の涵養とリーダー養成
- エ 学校・家庭・地域の連携
- オ 教育活動の基盤となる教育環境の充実

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

令和6年度はCラーニングを本格的に活用している。生徒の主体的な学びを深化させるための観点別評価に関する職員研修をはじめ、海外研修、課題研究等への取り組みや各種講演会等充実したプログラムを実施した。

令和7年度は医療系人材育成事業の指定を受けたことから、医学系セミナーの充実を図った。職員研修では、教職員のAI活用、発達支持的生徒指導、各教科の指導力向上、進路指導充実のための県外視察（予定）等を行った。

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

（重点取組目標・成果目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	自ら学ぶ力の育成 （大学入試改革への対応と読解力の養成）	平均家庭学習時間／2時間半以上 自主的な学習への取組／80%以上 ^{*1※3} 部活動後の速やかな下校／100% ^{*1}	平均家庭学習時間／1年生141.9分、 2年生139.8分 自主的な学習への取組／81.7% 部活動後の速やかな下校／87.2%	B	全体としては、個々の生徒が文武両道を念頭に置きよく努力している。
		大学等での授業・研究体験実施後の満足度／95% ^{*1}	東大訪問84人、順天堂大学医学部12人参加 感想から充実した内容が伺える	A	最高峰の大学を見学する機会として今後も継続したい。

		積極的な学習姿勢／講習参加率 1 年生 80%、2 年生 50%、3 年生 90%以上※ ¹ 難関大学 40 人、国公立大学 170 人以上の合格※ ¹	土曜講習参加率 1 年生 64.6% 2 年生 35.6% 3 年生 76.5% 大学合格者数は後日報告	B	前年よりやや数字が下がっている。積極的な補講参加を促していく
		授業理解度(よくわかる)／92%以上※ ¹ 授業改善へ積極的に取り組む姿勢／98%※ ³ ／目標に準拠した教育評価を行っている 95%以上※ ³	授業理解度(よくわかる)／92.1% 授業改善へ積極的に取り組む姿勢／82.9% 目標に準拠した教育評価を行っている／97.0%	B	新学習指導要領に基づいた共通テストも実施された。学習指導要領の内容理解も深まり、教職員は教材研究等意欲的に取り組んでいる。
		校外の発表や競技会に参加し、入賞する。	校外の発表や競技会に参加した数 2 R 6 チーム (延べ数)、3 R 2 チーム。多くの参加があり、受賞したものもあった。	A	校外で発表することで、プレゼンテーション能力や質問に対応する力をつけることができた。来年度も多くの生徒に外部の発表等に挑戦させたい。
イ	自己実現・自己肯定感の涵養	自律心の育成／90%※ ¹ 学校生活満足度／90%※ ¹ 学校への満足度／95%※ ²	自律心の育成／88.6% 学校生活満足度／91.9% 学校への満足度／94.8%	A	個々の生徒が高い目標を持ち、充実した生活を送ることができている。保護者の満足度は昨年と同様である。
		健康管理に係る各種講座満足度／95%※ ¹ 欠席・遅刻の削減 新体力テスト／最優秀校	薬学講座において、おおむね理解できたと答えた割合／99.4% 欠席・遅刻については学年部ごとに多少の違いや傾向があるが、学校全体としては欠席遅刻数ともに減少している。 新体力テストは男女とも最優秀校であった。	A	新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザの影響から、軽い体調不良でも欠席するケースが高止まりしている。健康管理のために休むことと休まず登校することの大切さのバランスをどう考えさせるかが、課題である。
		仲間や周囲への思いやり度／95%※ ¹ 相談できる教職員の存在／90%※ ^{1, 2} いじめへの速やかな対応、体罰 0 件	仲間や周囲への思いやり度／97.9% 相談できる教職員の存在／89.5%、73.0% いじめについては認知も含め速やかに対応できた。 体罰 0 件	B	他者への思いやりについて、自己意識と実際の言動が異なる場面があり、生徒間でのトラブルに発展するケースがあった。コミュニケーションスキルの習得方法を検討する。
		自転車事故／前年より削減 交通安全意識の高揚／100%※ ¹	交通事故 昨年度 1 件、本年度 2 件 交通安全を意識して登下校している生徒の割合 98.8%	A	更なる啓蒙活動を実施する。

		進路意識や国際感覚を高める行事実施後の満足度／95% ^{※1} 将来の進路の明確化／75% ^{※1}	大学ガイダンス 大変満足、満足／95.2% 職業レクチャー 大変満足、満足／93.5% 将来の進路の明確化／70.4% オンライン英会話満足度／前期 85.4% 後期 93.9% イギリス語学研修 大変満足、満足／100.0%	A	大学ガイダンスは1・2年生の積極的参加が目立った。各事業とも好評なため、継続していきたい。
		部活動に積極的に参加している／90% ^{※1}	部活動に積極的に参加している／88.9%	A	加入方法や加入時期等を検討する。
ウ	帰属意識の涵養とリーダー養成	規範意識のある生活／98% ^{※1} 自律心の育成／90% ^{※1} 挨拶の励行／92% ^{※1※2}	日常のマナーを意識して生活している生徒／99.4% 自律心／88.7% 挨拶の励行／87.6%	A	生徒が自主的に活動できる環境を整えるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。
		諸行事への自主的参画／90% ^{※1}	自主的に参画／92.8%	A	
		本校行事・活動の一体感／90% ^{※1} 仲間や周囲への思いやり度／98% ^{※1}	一体感を感じた／95.6% 仲間や周囲への思いやり度／97.9%	A	
		志龍塾実施後の満足度／95% ^{※1}	しっかりと事後レポートを書くことができ、充分満足したと考えられる。	A	
		職業レクチャー満足度／95% ^{※1} 先輩と語る会の開催	満足 84.5%、まあまあ満足 15.5%、計 100%	A	
エ	学校・家庭・地域の連携	将来の進路の明確化／75% ^{※1}	将来の進路が明確になってきた／70.4%	B	進路目標を明確化できるように努める。
		参加する生徒の増加／50%以上 ^{※3} 地域貢献に取り組む部活動の増加	地域活動に参加した生徒の割合／28.6% 奉仕活動等で貢献した部活動もあった。	B	他の活動との兼ね合いが難しいが、地域に貢献できるよう指導する
		ゴミ分別の徹底 トイレ清掃不足による苦情0	ゴミの分別は一部の生徒が守れていなかった。 トイレについて外部からの苦情はなかった	B	教室棟西側トイレの改修工事が終了し、新トイレが使用開始となった。これまでトイレの使用方法が悪い面もあったため、清掃方法も含め指導を徹底したい。
		HPの月間更新回数／平均3回 Facebookの月間更新回数／15回以上	新しいホームページの運用を行った。ホームページ／3回以上達成、Facebook等の月間更新回数／15回以上達成	A	リニューアルされたホームページを有効に活用更新し、魅力ある情報の発信に心がける。

		新聞3回以上、龍城学報50回以上／年間 学校新聞等の閲覧(生徒)／82%※ ¹ 学校新聞等の閲覧(保護者)／86%※ ² 家で学校についての会話／88%※ ¹	新聞3回、龍城学報50回達成 学校新聞等の閲覧生徒／86.6% 保護者／87.1% 家で学校について会話している生徒／86.6%	A	学校新聞、龍城学報の継続した情報発信に努め、家庭との連携に資するようになりたい。
		一日体験入学やオープンスクール参加者(来校者)の満足度／90%	参加者(来校者)の満足度／88%	B	中学生のみでは90%で、概ね満足して頂いている。
		各課・分掌会議、担任会の定期的実施	定期的に会議を開催した。	A	定期的な開催によって、情報を共有できた。
オ	教育活動の基盤となる教育環境の充実	I C T機器の利活用／90%※ ³	授業で活用した教員は85.7% 校務での活用は100% Cラーニング、百問繚乱の活用が定着した。	A	Cラーニングによる出欠席、欠課時数の確認、百問繚乱による採点システムへの導入により業務軽減に効果が見られた。
		年間一人あたりの貸し出し／3冊以上 図書館利用生徒の増加	全体平均が1.2冊から1.3冊に増加。早朝も含め、図書館利用者は増加した。	B	図書館利用者は例年並みであるが、貸出がなかなか伸びない。常に更新し続けることは必須であろう。
		適切な会計処理の励行と不祥事0件 学校経営予算1月末予算執行率／70%以上	監査及び会計検査の指摘事項なし 不祥事0件 予算執行率94.3%	A	適切な会計処理及び不祥事0件の継続を目指す。
		不祥事0件 積極的に研修を実施／100%※ ³ 教員公務員としての自覚／100%※ ³	不祥事0件 不祥事根絶研修の実施／100% 教育公務員としての自覚／100%	A	職員研修を継続して実施し、不祥事0件の継続を目指す。
		緊急時対応の理解度／100%※ ¹ 生徒の地域防災訓練への積極的な参加	緊急時対応の理解度／83.0% 生徒の地域活動への参加／28.6%(昨年度34.5%)	B	宿泊施設を災害対策拠点として設定。災害時発電可能となった。
		健診受診率／100%※ ³ 健康管理意識の向上※ ³ 夏季休暇の完全取得者／100%※ ³ 職員の時間外勤務時間の月平均が45時間以下	健診受診率／100% 夏季休暇の完全取得者／94.8% 職員の時間外勤務時間の月平均が45時間以下／43.1%	B	夏季休暇取得率の向上と時間外勤務時間の削減を目指す。

成果目標の数値は校内アンケート調査で「あてはまる・ややあてはまる」と回答した割合(%) ※¹は生徒 ※²は保護者 ※³は教職員

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標
 (重点取組目標・達成方法はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
ア	自ら学ぶ力の育成 (新課程入試改革への対応、読解力の向上)	系統的な初期指導	平均家庭学習時間／2時間半以上 自主的な学習への取組／80%以上 ^{*1} ^{*3} 部活動後の速やかな下校／100% ^{*1}	教務 生徒
		大学・研究施設等への訪問	大学訪問(東大、順天堂大)の満足度／85% 理数科・文系探究コース研究施設研修の満足度／85%	進路 文探・理数
		短期・長期の計画的継続的講習	講習に参加し学力がついた／85% 難関大学 35 人、国公立大学 170 人以上の合格	進路
		共通テスト対策とカリキュラムマネジメントに関連する研究／職員研修と授業公開	授業理解度(よくわかる)／92% ^{*1} 授業公開や研修の機会を活用するなど授業改善に取り組んでいる／90% ^{*3}	教務 広報・研修
		課題研究(探究)の深化	校外の発表や競技会に参加し、入賞する。	文探・理数
イ	自己実現力・自己肯定感の涵養	自尊心・モチベーションを高める個別支援 様々な表現手法の習得と活用	自律心の育成／90% ^{*1} 学校生活満足度／90% ^{*1} 学校への満足度／95% ^{*2}	生徒 (教務)
		きめ細かな健康管理	健康管理に係る各種講座満足度／95% ^{*1} 欠席・遅刻の削減 新体力テスト／最優秀校	保健 保健体育科
		いじめや体罰の撲滅	仲間や周囲への思いやり度／95% ^{*1} 相談できる教職員の存在／90% ^{*1, 2} いじめへの速やかな対応、体罰 0 件	保健 生徒
		交通事故・事犯の撲滅	自転車事故／前年より削減 交通安全意識の高揚／100% ^{*1}	生徒
		進路意識や国際感覚を高める学校行事の充実(職業レクチャー、語学研修等) キャリア教育の推進	進路意識や国際感覚を高める行事实施後の満足度／95% ^{*1} 将来の進路の明確化／75% ^{*1} 医学系セミナーの満足度／90% ^{*1}	進路 グローバル (総務)
		目的の明確な課外活動	部活動に積極的に参加している／90% ^{*1}	生徒
ウ	帰属意識の涵養とリーダー養成	主体的な生活管理	規範意識のある生活／98% ^{*1} 自律心の育成／90% ^{*1} 挨拶の励行／92% ^{*1} ^{*2}	生徒
		生徒会活動への積極的参加	諸行事への自主的参画／90% ^{*1}	
		行事(高原教室／修学旅行／龍城祭)の一体化	本校行事・活動の一体感／90% ^{*1} 仲間や周囲への思いやり度／98% ^{*1}	
		志龍塾(定期講演会)の充実	志龍塾実施後の満足度／95% ^{*1}	広報・研修
		卒業生OBとの交流機会の確保	卒業生OBの講演等の機会を効果的に設けている／85% ^{*3}	進路 (総務)
エ	学校・家庭・地	地域の行事や奉仕的活動	地域活動(ボランティア、防災、探究等)に参	生徒

	域の連携	への参加と行政等の連携強化	加する生徒の増加／40% ^{※3} 地域貢献に取り組む部活動の増加	(総務)
		全校清掃／クリーンアップ 作戦	ゴミ分別の徹底 トイレ清掃不足による苦情 0	保健 (総務)
		HP／SNS活用	HPの月間更新回数／平均3回 Facebook等の月間更新回数／5回以上	広報・研修
		学校新聞の発行と地域情報の収集・共有	新聞3回以上、龍城学報50回以上／年間 学校新聞等の閲覧(生徒)／82% ^{※1} 学校新聞等の閲覧(保護者)／86% ^{※2} 家での学校についての会話／88% ^{※1}	教務
		一日体験入学／オープンスクール等活動公開	一日体験入学やオープンスクール参加者(来校者)の満足度／90%	
		業務改善 (情報共有の場の積極活用) (外郭団体との連絡調整等)	他の教職員と連携し、組織的に活動している／95% ^{※3}	管理職 (分掌長／学年主任)
オ	教育活動の基盤となる教育環境の充実	ICT環境拡充 (業務改善)	ICT機器の利活用／90% ^{※3}	IT (広報・研修)
		蔵書の充実と新書の提示 読書会等の計画的開催	年間一人あたりの貸し出し／3冊以上 図書館利用生徒の増加	図書
		適切な会計管理と予算執行	適切な会計処理の励行と不祥事0件 学校経営予算1月末予算執行率／70%以上	事務
		コンプライアンスに関する研修会	不祥事0件 積極的に研修を実施／100% ^{※3} 教員公務員としての自覚／100% ^{※3}	管理職
		定期的な健康診断とストレスチェック 計画的な休暇取得の促進	健診受診率／100% ^{※3} 健康管理意識の向上 ^{※3} 夏季休暇の完全取得者／100% ^{※3} 職員の時間外勤務時間の月平均が45時間以下	管理職 保健

成果目標の数値は校内アンケート調査で「あてはまる・ややあてはまる」と回答した割合(%)

※1は生徒 ※2は保護者 ※3は教職員

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>進路意識啓発のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学訪問、職業レクチャー、大学レクチャー、大学と本校とをネットで結ぶオンラインガイダンスを実施した。 ・順天堂大学との連携協定により、同大学医学部及び附属静岡病院における医学セミナーを実施し、医学部希望者の意識高揚を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学ネットガイダンスは、春季（国公立）、秋季（私立）の2季にわけてオンライン形式で実施した。150人を超える参加者の大学もあり、活況を呈した。 ・順天堂大学医学部訪問は、13人の生徒が希望参加し、腹腔鏡手術、縫合や電気メスのトレーニング機器の操作を体験するとともに、近代日本医学教育史の研修、在校生との懇談等を行った。附属静岡病院見学は、30人の生徒が希望参加し、救急外来、ドクターヘリ、救命救急センター、新生児センター、DaVinci シミュレーション等の研修を行った。
	<p>英語力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イギリス語学研修を実施した。定員を大きく上回る希望があった。 ・静岡県立大学とオンラインで行う英会話レッスンを2期実施し、計56名の生徒が英語力・会話力・コミュニケーション能力の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス語学研修では、ホームステイや観光を通じて、語学だけでなくイギリス文化も体験できた。語学学校に他国からの学生が多く集まり、活発な異文化交流ができた。 ・オンライン英会話は、様々な場面に応じて英語で臨機応変に即答する力や、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を身につけた生徒が多くみられた。受講後の満足度は「90～100%」が14人中9人(第1期)と非常に好評であった。
令和7年度	<p>進路意識啓発のための取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度同様、東京大学訪問、職業レクチャー、大学と本校とをネットで結ぶオンラインガイダンスを実施した。 ・令和6年度同様、順天堂大学との連携協定により、同大学医学部及び附属静岡病院における医学セミナーを実施し、医学部希望者の意識高揚を図った。 ・医療系人材育成事業の指定を受けたことから、医学系セミナーをさらに充実させたプログラムを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学ネットガイダンスは、春季（国公立）、秋季（私立）の2季にわけてオンライン形式で実施した。150人を超える参加者の大学も複数あるなど、活況を呈した。 ・順天堂大学医学部訪問は、11人の生徒が希望参加し、昨年同様に腹腔鏡手術、縫合や電気メスのトレーニング機器の操作体験等を行った。附属静岡病院見学は、33人の生徒と15人の保護者が希望参加し、生徒は、救急外来、ドクターヘリ、救命救急センター等の研修を行った。いずれも満足度100%であった。 ・医療系人材育成事業指定の取組として、上記の内容に加えて3年生の志望理由書・小論文・面接講座、浜松医科大学対策講習会や2年生の医学系特別講義等も行った。いずれも満足度100%であった。
	<p>英語力向上の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度同様、イギリス語学研修を実施した。定員を大きく上回る希望があった。 ・令和6年度同様、静岡県立大学とオンラインで行う英会話レッスンを2期実施し、計56名の生徒が英語力・会話力・コミュニケーション能力の向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリス語学研修では、ホームステイや観光を通じて、語学だけでなくイギリス文化も体験できた。語学学校に他国からの学生が多く集まり、活発な異文化交流ができた。 ・オンライン英会話は、様々な場面に応じて英語で臨機応変に即答する力や、積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を身につけた生徒が多くみられた。受講後の満足度は「90～100%」が14人中10人(第1期)と非常に好評であった。

5 教職員について

(1) 異動状況

区 分	本 務 職 員				小 計	会計年度 任用職員		小 計	合 計
	校 長	教 諭	主 任	主 事		非常勤講師	非常勤嘱託員		
転出者	1	2	1	1	5				5
退職者		1			1	4	1	5	6
転入者	1	4	1		6				6
新任者					0	2	1	3	3
差引増減	0	1	0	△1	0	△2	0	△2	△2

(2) 現員数 (本務職員)

(令和7年9月30日現在)

区 分	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	事 務 長	主 査	主 任	主 事	主 任 技 能 員	小 計
男		1	1	39					1		1	43
女	1			9	1	2	1	1	1	1		17
計	1	1	1	48	1	2	1	1	2	1	1	60

(再掲) 再任用：教諭フル勤務4人、教諭ハーフ勤務1人・主任ハーフ勤務1人・主任技能員フル勤務1人

現員数 (会計年度任用職員等)

区 分	教 諭 (臨時的任用職員)	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 嘱 託 員	非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 講 師	校 医 等	小 計	合 計
男	1	1		1	5	4	12	55
女			1		4	3	8	25
計	1	1	1	1	9	7	20	80

(3) 健康管理について

- ・日頃から職員の健康管理には特に注意を払い、各自の自覚を促し、自己管理の徹底を図るとともに疾病の早期発見・早期治療に努めている。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため、日ごろから検温や健康観察を徹底し、適宜、保健課や管理職による声掛けを行った。
- ・勤務時間管理システムの入力を徹底することにより、超過勤務する職員に対して面談希望の有無を確認し、自己管理を促している。さらに、定期面談でも健康状況を話題にしている。

- ・職員のメンタルヘルスに関しては、日頃から話しやすい職場の雰囲気醸成に努めた。
- ・令和6年度の定期健康診断対象者60人全員が受診し、うち、生活習慣病健診は21人、人間ドックは27人、指定年齢検診は12人が受診した。令和7年度の定期健康診断対象者は60人が対象であり、うち生活習慣病健診は22人、人間ドックは30人、指定年齢検診は8人が受診または受診予定である。

(4) 教職員の研修について

	令和6年度	令和7年度
研修の目的	新学習指導要領にある「主体的な学び」を引き出すために、観点別評価や授業改善をどのように行うか研究する。	①教職員のAI活用 ②発達支持的生徒指導 ③教職員の教科指導力向上 ④進路指導の充実
研修内容及び成果	定期訪問において、総合教育センター指導主事より観点別研修について講義していただき、観点別評価について再認識することができた。	①は本校独自の全体研修として実施した。目新しい知見を得ることができた。 ②は定期訪問の全体研修で実施した。生徒指導提要改訂に伴い、これからの生徒指導の在り方について研修した。 ③は予備校の映像講座を受講し、受験指導に役立てた。また、教員相互の授業参観を行った。 ④は、県外視察により進路指導等で先進的な取組を行っている高校を訪問する予定である。
課題	教員がお互いの授業を参観しあう授業参観週間を設定しているが、多忙等により、十分な参観となっていない点が課題である。	教育環境の変化に伴い、様々な研修機会が必要である。しかしながら、実施した研修自体が必ずしも個々の教員のニーズに応えられるものではないことが課題である。

6 防災対策について

	令和6年度	令和7年度
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の推進と生徒、職員の防災意識の向上 ・地区別避難、点呼方法の確認 ・危機管理マニュアルの改訂 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の推進と生徒、職員の防災意識の向上 ・地区別避難、点呼方法の確認 ・危機管理マニュアルの改訂
取組内容及び成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒および教職員を対象に防災訓練を4月25日に実施した。その後、地区別に分かれ避難の確認を行った。避難経路の確認と人員点呼までの流れを確認した。 ・1年生を対象に東部危機管理局の職員を講師に招いた防災講話を5月31日に実施した。日頃からの防災意識を高めることができた。 ・危機管理マニュアルの全面改訂を進めている。 ・防災教育推進のための連絡協議会が8月に伊豆の国市あやめ会館で開催され、避難所開設時の対応を確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全校生徒および教職員を対象に防災訓練を4月24日に実施した。その後、地区別に分かれ避難の確認を行った。避難経路の確認と人員点呼までの流れを確認した。 ・1年生を対象に東部危機管理局の職員を講師に招いた防災講話を5月30日に実施した。日頃からの防災意識を高めることができた。 ・危機管理マニュアルの全面改訂を進めている。 ・防災教育推進のための連絡協議会が8月に伊豆の国市あやめ会館で開催され、避難所開設時の対応を確認した。
課題	気象変動等により土砂災害被害等への対応等、さらに意識付けをしていきたい。	気象変動等による交通障害への対応に特に留意していきたい。

7 学校開放について

体育館等の開放を行っている。

(令和7年9月30日現在)

年度	施設名	利用内容	利用日数	利用延人数	利用者負担金 (電気・ガス)
6	体育館	柔道	135日	3,574人	12,070円
	体育館	剣道	136日	2,172人	10,056円
	体育館	バスケットボール	20日	471人	2,991円
	プール	水泳	19日	187人	0円
	教室	土曜講習・模試等	32日	12,990人	304,912円
7	体育館	柔道	73日	2,036人	7,419円
	体育館	剣道	65日	977人	6,785円
	体育館	バスケットボール	12日	298人	2,210円
	プール	水泳	11日	133人	0円
	教室	土曜講習・模試等	14日	6,030人	0円

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、 第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条）
2 学校の管理・運営に 関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第8条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金 の支給に関する法律の一部を改正する法律 静岡県手数料徴収条例 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条）

学 校 施 設 の 概 要

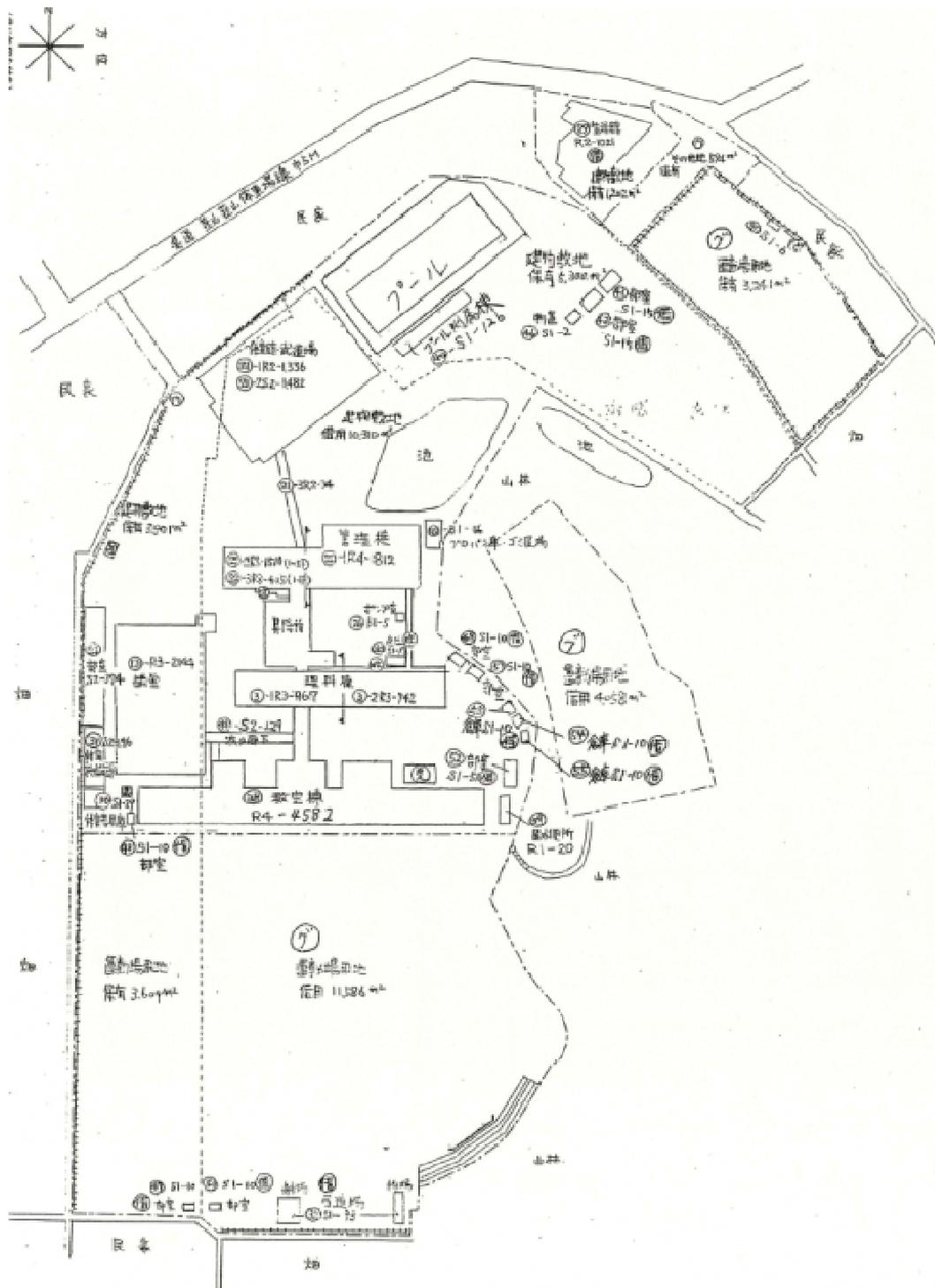
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	43,849.34	17,895.20				25,954.14	
内 訳	校 舎 敷 地	20,713.67	10,403.20			10,310.47	
	運 動 場 敷 地	22,541.67	6,898.00			15,643.67	
	その他の敷地	594.00	594.00				
校 舎	建 3,141.90	3,141.90					
	延 9,939.13	9,939.13					
体 育 館	建 1,476.14	1,476.14					1 階 武道場
	延 2,820.85	2,820.85					
その他の建物	建 2,109.59	1,850.01			259.58		
	延 3,536.14	3,276.56			259.58		
生 活 館	建 580.99				580.99		
	延 1,021.49				1,021.49		
プ ー ル	800.00	800.00					50m × 16m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	43,849.34 m ²	9,939.13 m ²	22,541.67 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調

(令和7年9月30日現在)

学年	学科別 区 分		全日制普通科				全日制理数科				(合 計)			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者		240	131	121	252	40	23	19	42	280	154	140	294
		増加		(1)								(1)		
		減少		(1)										
	現 在			131	121	252		23	19	42		154	140	294
2年	入学者		240	128	124	252	40	32	10	42	280	160	134	294
		増加		(1)										
		減少		1	1									
	2年時当初			128	123	251		32	10	42		160	133	293
		増加												
		減少		(1)	2									
現 在			127	121	248		32	10	42		159	131	290	
3年	入学者		240	131	110	241	40	25	16	41	280	156	126	282
		増加		1(1)										
		減少		(1)										
	2年時当初			132	110	242		25	16	41		157	126	283
		増加			(1)									
		減少		(1)	1(1)			1						
	3年時当初			131	109	240		24	16	40		155	125	280
		増加												
減少			1	1										
現 在			130	108	238		24	16	40		154	124	278	
合 計			720	388	350	738	120	79	45	124	840	467	395	862

入学志願者及び入学者数調

区 分		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
学 科 別		普通	理数								
生徒定員 (A)		240	40	240	40	240	40	240	40	240	40
募集者数 (B)		240	40	240	40	240	40	240	40	240	40
志願者数	男	142 (0)	30 (0)	133 (0)	37 (0)	127 (0)	34 (0)	139 (0)	38 (0)	108 (0)	53 (0)
	女	133 (0)	19 (0)	115 (0)	13 (0)	109 (0)	21 (0)	131 (0)	14 (0)	120 (0)	24 (0)
	計 (C)	275 (0)	49 (0)	248 (0)	50 (0)	236 (0)	55 (0)	270 (0)	52 (0)	228 (0)	77 (0)
受検者数	男	138 (0)	29 (0)	131 (0)	37 (0)	124 (0)	34 (0)	138 (0)	37 (0)	108 (0)	53 (0)
	女	133 (0)	19 (0)	115 (0)	12 (0)	109 (0)	21 (0)	131 (0)	14 (0)	120 (0)	24 (0)
	計 (D)	271 (0)	48 (0)	246 (0)	49 (0)	233 (0)	55 (0)	269 (0)	51 (0)	228 (0)	77 (0)
合格者数	男	127 (0)	26 (0)	132 (0)	32 (0)	131 (0)	25 (0)	128 (0)	32 (0)	131 (0)	23 (0)
	女	119 (0)	15 (0)	111 (0)	8 (0)	110 (0)	16 (0)	124 (0)	10 (0)	121 (0)	19 (0)
	計 (E)	246 (0)	41 (0)	243 (0)	40 (0)	243 (0)	41 (0)	252 (0)	42 (0)	252 (0)	42 (0)
志願倍率 (C)/(B)		1.15	1.23	1.03	1.25	0.98	1.37	1.13	1.30	0.95	1.93
受検倍率 (D)/(B)		1.13	1.20	1.03	1.23	0.97	1.37	1.12	1.28	0.95	1.93
入学者数	男	127	26	132	32	131	25	128	32	131	23
	女	119	15	111	8	110	16	124	10	121	19
	計 (F)	246	41	243	40	241	41	252	42	252	42
充足率 (F)/(A)		1.03	1.03	1.01	1.00	1.00	1.03	1.05	1.05	1.05	1.05

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		全日制普通科			全日制理数科			(計)			
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		242	239	235	41	40	40	283	279	275	
内	(進学志願者)	(242)	(239)	(235)	(41)	(40)	(40)	(283)	(279)	(275)	
	進学者	大学・短大	222	225	214	36	34	35	258	259	249
		専修・各種学校等	17	2	0	4	0	1	21	2	1
		小 計	239	227	214	40	34	36	279	261	250
訳	就 職 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自 営 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	進学準備者	3	12	21	1	6	4	4	18	25	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計		242	239	235	41	40	40	283	279	275	

2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	0	0	0
求 人 数	0	0	0
求人倍率	/	/	/

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位：人)

市町村名	熱海市	三島市	伊東市	伊豆市	伊豆の国市
生徒数	22	298	83	54	108
構成比 %	2.5	34.6	9.6	6.3	12.5
市町村名	函南町	清水町	長泉町	その他	合計
生徒数	95	42	58	102	862
構成比 %	11.0	4.9	6.7	11.8	100%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位：人)

区分	徒歩	自転車	電車	バス	その他	合計
生徒数	48	193	546	26	49	862
構成比 %	5.6	22.4	63.3	3.0	5.7	100%

2 部(クラブ)の加入状況

(令和7年9月30日現在) (単位：人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		18	13		31
男子	1年	127	27	0	154
	2年	116	43	0	159
	3年	130	25	0	155
	計(A)	373	95	0	468
	構成比	79.7	20.3	0.0	100
女子	1年	69	71	0	140
	2年	54	77	0	131
	3年	57	66	0	123
	計(B)	180	214	0	394
	構成比	45.7	54.3	0.0	100
合計	(A+B)	553	309	0	862
	構成比	64.2	35.8	0.0	100

(全日制)

授 業 料 収

期別	月別	調 定 の 状 況							
		1年		2年		3年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	5								
	6								
	7	120	3,564,000	106	3,148,200	106	3,148,200	332	9,860,400
	8								
	計	120	3,564,000	106	3,148,200	106	3,148,200	332	9,860,400
二 期	7								
	8								
	9					1	19,800	1	19,800
	10	127	6,286,500	108	5,346,000	106	5,247,000	341	16,879,500
	11								
	12								
	計	127	6,286,500	108	5,346,000	107	5,266,800	342	16,899,300
三 期	12								
	1	127	5,029,200	108	4,276,800	106	4,197,600	341	13,503,600
	2								
	3								
	計	127	5,029,200	108	4,276,800	106	4,197,600	341	13,503,600
合 計		374	14,879,700	322	12,771,000	319	12,612,600	1,015	40,263,300

令和7年度 該当なし

納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納期内収納額		納期後 収納額	収 入 未 済 額	
円	%			
				A. 期首収納権利発生額＝ 9,860,400 円 <u>(332人×9,900円×3月)</u>
				B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 0 円 〈内訳〉
9,801,000	99.4			
		59,400	0	
9,801,000	99.4	59,400	0	C. 収納必要額A(±)B＝ 9,860,400 円
				A. 期首収納権利発生額＝ 16,929,000 円 <u>(342人×9,900円×5月)</u>
				B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 29,700 円 〈内訳〉 8月31日：3年：転学▲1 1×9,900円×3月＝29,700円
19,800	100.0		0	
16,533,000	97.9			
		346,500	0	
16,552,800	97.9	346,500	0	C. 収納必要額A(±)B＝ 16,899,300 円
				A. 期首収納権利発生額＝ 13,503,600 円 <u>(341人×9,900円×4月)</u>
13,147,200	97.4			B. 収納権利増減 (▲) 額＝ 0 円
		356,400	0	
13,147,200	97.4	356,400	0	C. 収納必要額A(±)B＝ 13,503,600 円
39,501,000	98.1	762,300	0	D. 収納必要額＝ 40,263,300 円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	304	0

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高(円)	摘 要
スルガ銀行 伊豆長岡支店	無利息型 普通預金	555681	葦山高等学校資金前渡者 三枝 美保子	0	資金前渡用
スルガ銀行 伊豆長岡支店	無利息型 普通預金	1496117	(自振口)葦山高等学校 資金前渡者 三枝 美保子	0	公共料金等 引落用
残 高 合 計				0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、令和4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	244,200	0	/
	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,273,855	1,353,330	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	909,315	1,058,530	
計					2,427,370	2,411,860	0
(14) 工事 請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,012,000	0	/
計					1,012,000	0	0
(16) 公有財産 購入費							/
計					0	0	0
(17) 備品 購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	447,040	165,000	/
計					447,040	165,000	0
(18) 負担金、 補助及 び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	60,768,200	61,139,800	/
計					60,768,200	61,139,800	0
(21) 補償、補填 填及び賠填 償金							/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節 名	会 計	款	項	目	執 行 済 額 (円)	
						うち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委 託 料	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	526,900	0
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	621,500	0
計					1,148,400	0
(14) 工 事 請 負 費						
計					0	0
(16) 公 有 財 産 購 入 費						
計					0	0
(17) 備 品 購 入 費						
計					0	0
(18) 負 担 金 、 補 助 及 び 交 付 金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	14,731,300	0
	一般会計	教育費	学校教育費	高等教育費	119,900	
計					14,851,200	0
(21) 補 償 、 補 填 及 び 賠 償 金						
計					0	0

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当 初 額	変更増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	自家用電気工作物保安管理業務	(株) 静岡ケイテクノ	1,333,200	1,333,200	60,500	1,393,700
2	エレベーター保守点検業務	三菱電機ビル ソリューションズ (株) 横浜支社	316,800	316,800	0	316,800
3	可燃物等収集運搬処分業務	(株) マエダ美化	630,630	506,660	0	506,660
4	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	ジャパンウェイスト (株)	95,700	95,700	0	95,700
5	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	セキトランスシステム (株)	99,000	99,000	0	99,000
	事務関係 計	5 件	2,475,330	2,351,360	60,500	2,411,860
	合 計	5 件	2,475,330	2,351,360	60,500	2,411,860
参考	(事務関係)					
1	静岡県立三島北高等学校外9校 警備業務	セコム (株)		14,256,000	1,108,800	15,364,800
2	静岡県立三島北高等学校外9校 消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器 (株)		8,156,104	0	8,156,104
3	静岡県立伊豆中央高等学校外1校 浄化槽保守点検業務	(有) 清水総業		46,200	0	46,200
4	静岡県立伊豆総合高等学校外7校 プール浄化装置保守点検業務	東伸興産 (株)		194,700	0	194,700
5	三島田方地区県立学校建築基準法 第12条に基づく定期点検業務	(有) コーセイ産業		2,378,640	0	2,378,640
6	(工事関係) 令和6年度 [第36-Z2504-01号] 韮山高等学校教室棟空調設備更新 他工事設計業務委託	(有) あおい設備 設計事務所		2,134,000	0	2,134,000
	計	6 件				

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.5.27	70,950	韮山高校外3校の自家用電気 工作物保安管理業務	伊豆中央高校 東部特別支援学校 伊豆の国特別支援学校
		6.6.25	70,950		
		6.7.25	73,700		
		6.8.26	199,100		
		6.9.26	463,100		
		6.10.25	73,700		
		6.11.25	73,700		
		6.12.23	73,700		
		7.1.28	73,700		
		7.2.26	73,700		
		7.3.26	73,700		
7.4.25	73,700				
小計		1,393,700			
随契	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.25	79,200	志龍講堂エレベーター点検・ 検査業務	随契1号(少額)
		6.10.25	79,200		
		7.1.28	79,200		
		7.4.30	79,200		
小計		316,800			
随契	6.4.5 ～ 7.3.31	6.5.27	41,360	韮山高校外3校の可燃物等取 集運搬処分業務	随契1号(少額) 伊豆中央高校 東部特別支援学校 伊豆の国特別支援学校
		6.6.25	41,360		
		6.7.25	41,360		
		6.8.26	46,530		
		6.9.26	41,360		
		6.10.25	41,360		
		6.11.25	46,530		
		6.12.23	46,530		
		7.1.28	41,360		
		7.2.26	41,360		
		7.3.26	36,190		
7.4.30	41,360				
小計		506,660			
随契	6.8.1 ～ 7.2.28	6.10.18	95,700	理科実験による廃薬品の収 集・運搬及び処分業務	随契1号(少額)
随契	6.12.10 ～ 7.3.21	7.1.28	99,000	不燃物の収集運搬処分業務	随契1号(少額)
			2,411,860		
			2,411,860		
	1.10.1 ～ 6.9.30			三島北高校外9校の夜間・休 日警備業務	三島北高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			三島北高校外9校の消防設備 保守点検業務	三島北高校
	6.4.1 ～ 7.3.31			伊豆中央高校外1校の浄化槽 の保守点検業務	伊豆中央高校
	6.4.8 ～ 6.10.18			伊豆総合高校外7校のプール 浄化装置保守点検業務	伊豆総合高校
	6.8.1 ～ 6.11.29			三島・田方地区県立学校の建築 基準法第12条に基づく定期点 検業務	伊豆中央高校
	6.6.27 ～ 6.11.15			韮山高等学校教室棟空調設備 更新工事に係る設計業務 沼津聴覚特別支援学校給水設 備改修工事修正設計業務委託 に係る設計業務	設備課 (韮山高校分 1,808,000円)

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受 託 者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当 初 額	変更増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	自家用電気工作物保安管理業務	(株) 静岡ケイテクノ	1,359,600	1,359,600	0	1,359,600
2	エレベーター保守点検業務	三菱電機ビル ソリューションズ (株) 横浜支社	330,000	330,000	0	330,000
3	可燃物等収集運搬処分業務	(株) マエダ美化	624,195	501,490	0	501,490
	事務関係 計	3 件	2,313,795	2,191,090	0	2,191,090
	合 計	3 件	2,313,795	2,191,090	0	2,191,090
参考	(事務関係)					
1	静岡県立三島北高等学校外 9 校 警備業務	セコム (株)		19,965,000	0	19,965,000
2	静岡県立三島北高等学校外 9 校 消防用設備等保守点検業務	伊豆防災機器 (株)		8,032,024	0	8,032,024
3	静岡県立伊豆中央高等学校外 1 校 浄化槽保守点検業務	(有) 清水総業		46,200	0	46,200
4	静岡県立伊豆総合高等学校外 6 校 プール浄化装置保守点検業務	東伸興産 (株)		191,400	0	191,400
	計	4 件				

関 する 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
一般	8.4.1 ～ 7.3.31	7.5.26	円 71,500	韮山高校外3校の自家用電気工作物保安管理業務	伊豆中央高校 東部特別支援学校 伊豆の国特別支援学校
		7.6.26	71,500		
		7.7.28	71,500		
		7.8.26	71,500		
		7.9.26	573,100		
小計	859,100				
随契	7.4.1 ～ 8.3.31	7.7.28	82,500	志龍講堂エレベーター点検・検査業務	随契1号(少額)
随契	7.4.4 ～ 8.3.31	7.5.26	36,190	韮山高校外3校の可燃物等収集運搬処分業務	随契1号(少額) 伊豆中央高校 東部特別支援学校 伊豆の国特別支援学校
		7.6.26	41,360		
		7.7.28	41,360		
		7.8.26	46,530		
		7.9.26	41,360		
小計	206,800				
			1,148,400		
			1,148,400		
	6.10.1 ～ 11.9.30			三島北高校外9校の夜間・休日警備業務	三島北高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			三島北高校外9校の消防設備保守点検業務	三島北高校
	7.4.1 ～ 8.3.31			伊豆中央高校外1校の浄化槽の保守点検業務	伊豆中央高校
	7.4.7 ～ 7.10.17			伊豆総合高校外6校のプール浄化装置保守点検業務	伊豆総合高校

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	全国高等学校長協会規約	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	円 4,000	6.5.14
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分523名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	15,533,100	振替日 6.7.31
3	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター	開催通知	特別管理産業廃棄物管理責任者に関する講習会受講料	13,200	6.8.23
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分513名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	25,393,500	振替日 6.10.31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	△ 9,900	振替日 6.12.10
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分511名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,205,900	振替日 6.1.31
計		6件	/	/	61,139,800	/

様式第13号

負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	静岡県高等学校長協会	全国高等学校長協会規約	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	円 4,000	7.5.14
2	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分496名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	14,721,300	振替日 7.7.31
3	全国普通科高等学校長会第75回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	全国普通科高等学校長会規約	全国普通科高等学校長会第75回総会・研究協議会参加費	6,000	7.8.15
4	教育探究セミナー受講料	駿台教育センター(株)	駿台教育探究セミナー利用規約	(Web)教育探究セミナー受講料	119,900	7.8.20
計		4件	/	/	14,851,200	/

余 白

建 築 工

参 考

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額 円	契 約 金 額		
					当 初 額 円	変 更 増 減 額 円	計 円
1	教育管理費	令和6年度[第36-Z1528-01号] 葦山高等学校教室棟西系統トイレ改修工事(建築)	伊豆の国市葦山 葦山地内	40,304,000	39,050,000	1,430,000	40,480,000
2	教育管理費	令和6年度[第36-Z2406-01号] 葦山高等学校教室棟西系統トイレ改修工事(機械設備)	伊豆の国市葦山 葦山地内	20,922,000	19,800,000	363,000	20,163,000
		合 計	2 件	61,226,000	58,850,000	1,793,000	60,643,000

様式第19号

建 築 工

参 考

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設 計 金 額 円	契 約 金 額		
					当 初 額 円	変 更 増 減 額 円	計 円
1	教育管理費	令和7年度[第37-Z1537-01号] 葦山高等学校教室棟東系統トイレ改修工事(建築)	伊豆の国市葦山 葦山地内	54,043,000	52,800,000		52,800,000
2	教育管理費	令和7年度[第37-Z2405-01号] 葦山高等学校教室棟東系統トイレ改修他工事(機械設備)	伊豆の国市葦山 葦山地内	91,586,000	88,088,000		88,088,000
		合 計	2 件	145,629,000	140,888,000	0	140,888,000

事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	山本建設(株)	6.6.12 ～ 6.12.13	円 40,480,000	トイレ改修工事	-	建築工事課
一般	(株)井戸松	6.6.12 ～ 6.12.13	20,163,000	トイレ改修工事(機械設備)	-	設備課
			60,643,000			

事 調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	山本建設(株)	7.6.13 ～ 7.12.12	円 0	トイレ改修工事	-	建築工事課
一般	古郡工業(株)	7.6.13 ～ 8.2.13	0	トイレ改修他工事(機械設備)	-	設備課
			0			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,696,502	/	千円 -	/	千円 47,855	/	千円 1,648,647	
土 地	17,895.20㎡	905,088					17,895.20㎡	905,088	
立木竹	80本	1,907				-	80本	1,907	
建 物	6,468.05㎡ 16,036.54㎡	698,007				36,015	6,468.05㎡ 16,036.54㎡	661,992	
工作物	66個	91,500				11,840	66個	79,660	
普通財産	/	0	/	0	/	0	/	0	
公有財産に 準ずるもの	/	159	/	0	/	0	/	159	
電話加入権	5件	159					5件	159	
上記の財産に 属さないもの	/	0	/	0	/	0	/	0	

令和7年度中増減なし

余 白

借 地 借

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積
				台 帳	現 況	
1	土 地	学校敷地	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9	宅 地	校舎・運動場敷地	18,587.58
	"	"	伊豆の国市韮山葦山字外池 3 2 5 - 2	"	運動場敷地	509.15
	"	"	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 1 8 7 - 1	"	校舎敷地	1,582.66
	"	"	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 0 5 - 2	"	"	84.89
	"	"	伊豆の国市韮山葦山字大手 1 5 7 - 2	"	"	344.86
2	土 地	学校敷地	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 1 9 6	山 林	運動場敷地	4,058.00
	"	"	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 1 9 9 - 3	原 野	校舎敷地	69.00
3	土 地	学校敷地	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 1 9 9 - 6	ため池	校舎敷地	494.00
4	土 地	学校敷地	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 1 5 9	宅 地	校舎敷地	224.00
5	建 物	事務所建	伊豆の国市韮山山木 6 7 6 - 1		鉄筋 2 階建	580.99
						1,021.49
6	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山山木 6 7 6 - 1		プレハブ	6.48
						6.48
7	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		コンテナ	37.67
						37.67
8	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9 外		鉄 骨	60.59
						60.59
9	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		木 造	25.59
						25.59
10	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	9.63
						9.63
11	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	9.63
						9.63
12	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	9.93
						9.93
13	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	9.63
						9.63
14	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	9.93
						9.93
15	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山字御座敷 2 2 9		プレハブ	50.71
						50.71
16	建 物	雑屋建	伊豆の国市韮山葦山 1 5 7 - 2 外		プレハブ	29.79
						29.79
17	工作物	囲障	伊豆の国市韮山葦山 1 5 7 - 2 外		フェンス	1 個 (11.28) m
18	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
19	工作物	舗床	伊豆の国市韮山山木 6 7 6 - 1		テニスコート	1 個 (2,718.80) m ²
20	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山山木 6 7 6 - 1		冷暖房装置	1 個
21	工作物	舗床	伊豆の国市韮山山木 1 5 7 - 4		アスファルト舗装	1 個 (1,430) m ²
22	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
23	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
24	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
25	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
26	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
27	工作物	冷暖房装置	伊豆の国市韮山葦山 2 2 9		冷暖房装置	1 個
	計					土地 25,954.14 建物 840.57 1,281.07 工作物 11 個

家 等 調

(令和7年9月30日現在)

借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
単 価	年 額			
円	円			
—	22,532,927	7. 4. 1～10. 3. 31	個人、(公財)江川文庫 代表理事	校舎敷地及び運動場
—	4,009,996	7. 4. 1～10. 3. 31	個 人	校舎敷地及び運動場
—	479,180	7. 4. 1～10. 3. 31	個 人	校舎敷地
—	239,376	7. 4. 1～10. 3. 31	個 人	校舎敷地
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	生活館
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	倉庫兼部室 (硬式テニスコート)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (駐車場北側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	射場
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	的場
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (グラウンド北側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (グラウンド南側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (理科棟東側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (射場西側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	部室 (理科棟東側)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	野球部部室
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	保管用倉庫
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	弓道場目隠し フェンス
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	進路指導室 冷暖房装置 2 台
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	テニスコート 砂入り人工芝 4 面
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	生活館停電対応型空調設備 及びガス設備(災害バルク)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	駐車場アスファルト舗装
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	冷暖房装置 (バルク及び配管)
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	理科棟 4 教室 冷暖房装置 8 台
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	社会科教室 冷暖房装置 2 台
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	LL教室 冷暖房装置 3 台
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	教育相談室 冷暖房装置 1 台
	無 償	7. 4. 1～8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	会議室・応接室 冷暖房装置 2 台
	27,261,479			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
長期継続 契 約	電子複写機 使 用 料	電子複写機 2台の使用 (契約日) R6.4.1	円 715,440	円 143,088	円 143,088	円 143,088	円 143,088	円 143,088

余 白

行政財産貸付

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積
				台 帳	現 況	
1	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山229	学校用地	学校用地	7 本
2	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山229	学校用地	学校用地	8 本
3	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山山木694	学校用地	学校用地	50 m ²
4	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山山木694	学校用地	学校用地	6.10 m ²
5	建物	事務所建	伊豆の国市韮山韮山229	RC5F	RC5F	0.02 m ²
6	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山土手和田41-2外	学校用地	学校用地	13.72 m ²
7	建物	事務所建	伊豆の国市韮山韮山229	RC3F	RC3F	100.36 m ²
8	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山山木694	学校用地	学校用地	0.30 m ²
9	土地 建物	学校敷地 事務所建	伊豆の国市韮山韮山229	学校用地 RC5F SRC2F	学校用地 RC5F SRC2F	0.37 m ² 2.07 m ² 0.04 m ²
10	建物	事務所建	伊豆の国市韮山韮山229	RC5F	RC5F	6.6 m ²
11	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山山木694	学校用地	学校用地	0.15 m ²
12	建物	事務所建	伊豆の国市韮山韮山229	RC3F	RC3F	6.00 m ²
合 計						

・ 使用許可調

(令和7年9月30日現在)

貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可期間	貸付又は使用許可を受けたものの氏名	貸付・使用 許可目的
単価	年額			
1,500	10,500 円	3. 4. 1 ～ 8. 3. 31	西日本電信電話株式会社 静岡支店長	電柱3本 支線4条
1,500	12,000	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	東京電力パワーグリッド株式会社 伊豆支社長	電柱4本 支線4条
	免除	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	伊豆の国市長	地下貯水池
	免除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	伊豆の国市長	道路側溝
	免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	伊豆の国市長	同報無線
	免除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	伊豆の国市長	水路
	免除	6. 4. 1 ～ 9. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会 理事長	厨房及び 厨房施設
	免除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	伊豆の国市長	観光案内標識
	免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	伊豆の国市長	防災無線半固定局 及びアンテナ
	免除	7. 4. 1 ～ 12. 3. 31	静岡県立韮山高等学校PTA会長	団体職員執務場所
	免除	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	伊豆中央警察署長	一時停止標識
	710,600	5. 4. 1 ～ 8. 3. 31	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ベンディング中部日本地区統括部 ベンディング静岡支店	自動販売機 (志龍講堂内)
	733,100			

普通財産・借受

整理 番号	区分	種 別	所 在 地	地 目		数量又は面積
				台 帳	現 況	
1	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	60.59 m ²
2	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	25.59 m ²
3	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	6.00 m ²
4	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山御座敷229	宅 地	学校用地	9.93 m ²
5	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山御座敷229	宅 地	学校用地	13.12 m ²
6	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山御座敷229	宅 地	学校用地	9.93 m ²
7	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	11.28 m ²
8	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	50.71 m ²
9	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	29.79 m ²
10	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山御座敷199-6	ため池	学校用地	2 本
11	土地	学校敷地	伊豆の国市韮山韮山157-2 外	宅 地	学校用地	0.6 m ²
合 計						

財 産 等 貸 付 調

(令和7年9月30日現在)

貸付料又は使用料		貸付又は 使用許可期間	貸付又は使用許可を受けたものの氏名	貸付・使用 許可目的
単価	年 額			
	免 除 円	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	弓道場 (射場)
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	弓道場 (的場)
	6,400	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	自動販売機 (校舎1階北側)
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	部 室 (理科棟東側)
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	部 室 (射場西側)
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	部 室 (理科棟東側)
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	弓道場目隠し フェンス
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	野球部部室
	免 除	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	(一社)静岡県立韮山高等学校後援会理事長	保管用倉庫
1,500	3,000	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	東京電力パワーグリッド株式会社伊豆支社長	電柱1本 支線1条
	免 除	7. 4. 1 ～ 10. 3. 31	静岡県危機管理部危機情報課長	地下水位水温計
	9,400			

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大 ・ 中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ (一式)	パーソナルコンピュータ (一式) 生徒機 42台	授業用 年間使用	R2. 1	円 4,377,912
2	05-03	その他の電気試験計測器	超高温電気炉 アズワン HTR-1010	課題研究用 随時使用 (100日)	R1. 9	円 2,235,600
3	01-04	戸棚	ダルトン F C - B H J	調理教室 物品収納 年間使用	H3. 12	2,155,790
4	02-01	その他の情報処理機器	ソフトウェア OfficeStd2013, WinSvrCAL2012	授業用 年間使用	H27. 3	2,023,920
5	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ カワイ R X 7 A	授業・部活動用 毎日使用 (200日)	H13. 1	1,747,200
6	10-07	鍵盤楽器	グランドピアノ ヤマハ C 5	行事・部活動用 毎日使用 (200日)	H10. 10	1,621,725
7	05-03	その他の電気試験計測器	紫外線可視分光光度計 アズワン ASUV-6300PC	課題研究用 随時使用 (20日)	R1. 9	928,800
8	10-06	教育調理器具	ヤガミ Y F T - 2 K H	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	927,000
9	02-01	その他の情報処理機器	サーバ ラックベースユニット	事務・校務用 年間使用	H25. 4	751,800
10	02-03	その他の再生機器	電動100インチスクリーン E A - V 1 0 0	授業・部活動用 毎日使用 (200日)	H12. 3	729,750
11	10-12	サッカー用器具	サッカーゴール 三英 4 2 - 4 3 5	授業・部活動用 毎日使用 (200日)	H11. 3	674,100
12	05-03	その他の電気試験計測器	クロロフィル蛍光測定器 WALZ JUNIOR-PAM	授業用 随時使用 (30日)	R1. 9	669,600
13	01-04	移動書庫	移動書庫 ライオン S R - 4 5	事務室 年間使用	H1. 3	659,000
14	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
15	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
16	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
17	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
18	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
19	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
20	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750
21	10-06	教育調理器具	生徒用調理台 2100×900×895	授業・実習用 随時使用 (35日)	H3. 12	643,750

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要	
1	校長	三枝 美保子		□□□□□	□年□月	□□□	
2	副校長	芹沢 利弘		□□□□□	□年□月	□□□	
3	教頭	山本 哲也	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
4	教諭	川口 雅司	保健体育	□□□□□	□年□月	□□□	
5	〃	山口 昌信	理科	□□□□□	□年□月	□□□	
6	〃	菊地 正博	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
7	〃	関野 治	理科	□□□□□	□年□月	□□□	
8	〃	奥山 達生	理科	□□□□□	□年□月	□□□	
9	〃	折田 恒一	英語	□□□□□	□年□月	□□□	
10	〃	渡邊 充司	理科	□□□□□	□年□月	□□□	
11	〃	山口 真央	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
12	〃	小崎 哲生	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
13	〃	津田 公尚	国語	□□□□□	□年□月	□□□	
14	〃	岩崎 竜一	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
15	〃	柏木 真治	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
16	〃	中山 義久	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
17	〃	久保木 優子	英語	□□□□□	□年□月	□□□	
18	〃	石川 浩史	国語	□□□□□	□年□月	□□□	
19	〃	小澤 和弘	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
20	〃	佐藤 久	国語	□□□□□	□年□月	□□□	
21	〃	白石 隆	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
22	〃	山本 孝也	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
23	〃	白井 美千子	国語	□□□□□	□年□月	□□□	
24	〃	西島 ゆり	英語	□□□□□	□年□月	□□□	
25	〃	阿部 澄人	地歴公民	□□□□□	□年□月	□□□	
26	〃	原 徹之介	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
27	〃	齋藤 潤	保健体育	□□□□□	□年□月	□□□	
28	〃	梅原 義隆	数学	□□□□□	□年□月	□□□	
29	〃	橋本 佳代子	国語	□□□□□	□年□月	□□□	
30	〃	高橋 佳織	英語	□□□□□	□年□月	□□□	
31	〃	武井 淳	保健体育	□□□□□	□年□月	□□□	
32	〃	山崎 大助	数学	□□□□□	□年□月	□□□	

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要	
33	教 諭	富 川 友 秀	理 科				
34		吉 田 睦	保健体育	□□□□□	□年 □月	□□□	
35		市 川 大	保健体育	□□□□□	□年 □月	□□□	
36	〃	山 本 倫 之	保健体育	□□□□□	□年 □月	□□□	
37	〃	安 達 拓 也	数 学	□□□□□	□年 □月	□□□	
38	〃	関 本 周 平	理 科	□□□□□	□年 □月	□□□	
39	〃	牧 野 誉 弘	国 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
40	〃	吉 田 亮 祐	理 科	□□□□□	□年 □月	□□□	
41	〃	嶋 本 元 気	数 学	□□□□□	□年 □月	□□□	
42	〃	小 野 田 文 香	英 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
43	〃	上 松 千 紗 都	理 科	□□□□□	□年 □月	□□□	
44	〃	阿 部 桃 苗	国 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
45	〃	栗 田 秀 人	英 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
46	〃	杉 山 拓 弥	保健体育	□□□□□	□年 □月	□□□	
47	〃	安 立 真 一 郎	理 科	□□□□□	□年 □月	□□□	
48	〃	今 田 隼 人	英 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
49	〃	石 塚 佳 祐	理 科	□□□□□	□年 □月	□□□	
50	〃	福 川 哲 平	国 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
51	〃	寺 田 佳 弘	数 学	□□□□□	□年 □月	□□□	
52	養護教諭	工 藤 裕 絵	養 護	□□□□□	□年 □月	□□□	
53	実習助手	田 邊 麻 衣	理 科	□□□□□	□年 □月		
54	実習助手	猪 俣 汐 帆	理 科	□□□□□	□年 □月		
55	事務長	菊 地 和 美	事務統括	□□□□□	□年 □月		
56	主 査	前 田 由 夏	会 計	□□□□□	□年 □月		
57	主 任	加 藤 由 佳 利	会 計	□□□□□	□年 □月		
58	〃	新 井 智 陽	管 財	□□□□□	□年 □月		
59	主 事	勝 又 理 帆	給与・庶務	□□□□□	□年 □月		
60	主任技能員	星 谷 立	環境整備	□□□□□	□年 □月		
平均年数					4年 4月		

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要	
1	教 諭	藤 田 隆 敏	国 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
2	外国語指導講師	イシミツ マーク	英 語	□□□□□	□年 □月		
3	非常勤講師	大久保 敏之	音 楽	□□□□□	□年 □月	□□□	
4	〃	鈴木 健 司	美 術	□□□□□	□年 □月	□□□	
5	〃	池 谷 公 司	書 道	□□□□□	□年 □月	□□□	
6	〃	渡 瀬 淳 子	家 庭	□□□□□	□年 □月	□□□	
7	〃	山 田 佳 奈 子	情 報	□□□□□	□年 □月	□□□	
8	〃	久 保 地 里 奈	英 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
9	〃	古 賀 惠 介	地歴公民	□□□□□	□年 □月	□□□	
10	〃	飯 塚 幹 捷	地歴公民	□□□□□	□年 □月	□□□	
11	〃	河 合 亮 子	国 語	□□□□□	□年 □月	□□□	
12	非常勤嘱託員	小 川 益 理 子	会 計	□□□□□	□年 □月	□□□	
13	非常勤労務職員	木 内 勲	用 務	□□□□□	□年 □月	□□□	
14	学校医	杉 本 忠 彦	内 科	□□□□□	□年 □月		健康管理医
15	〃	西 脇 宜 子	耳鼻科	□□□□□	□年 □月		
16	〃	宇 野 佐 代 子	眼 科	□□□□□	□年 □月		
17	〃	堀 江 伴 英	歯 科	□□□□□	□年 □月		
18	〃	山 田 秀 司	歯 科	□□□□□	□年 □月		
19	〃	鈴 木 基 志	歯 科	□□□□□	□年 □月		
20	薬剤師	諏 訪 祥 太 郎		□□□□□	□年 □月		

職員の年齢調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	13	
40歳以上50歳未満	9	
50歳以上56歳未満	12	
56歳以上61歳未満	10	
61歳以上	12	定年前再任用7人
計	60	平均年齢 48.9歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 60人 職員数 60人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人
B 2		要経過観察	0人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人
C 2		要経過観察	0人
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	25人 (7)
D 2		要経過観察	7人 (3)
D 3		医療不要	28人 (6)
区 分 者 計			60人 (16)
未区分者数			0人
合 計			60人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休	0人
イ 新規採用	0人
ウ 自己都合による未受診	0人
エ その他	0人